

神楽

Morioka
Kagura



うまく演奏できると、楽しいよ!

保存会紹介 1 土曜日にこども教室を開催 大宮神楽保存会

大宮神楽は、1200年以上という歴史を誇る大宮神社(本宮字大宮)に奉納されている社風神楽です。坂上田村麻呂に同行した神職が受け継いだといわれ、現在は、有志を中心に構成される大宮神楽保存会が伝承。大宮神社の例大祭のほか、櫻山神社(内丸)、住吉神社(住吉町)などでも奉納しています。また、後継者の養成を目的に、小学生から高校生までを対象とした「大宮神楽こども教室」を月2回、土曜日の19時から開催しています。

大宮神楽では、「千代の御神楽」が基本の舞とされており、必ずこれを最初に習うことから始まります。新築祝いなどのお祝い事にはご祈禱舞として「権現舞」を舞い、他にも3人で剣を持って舞う「節流儀」や狂言があるのが特徴です。

【問】大宮神楽保存会事務局 鈴木 寛隆さん
☎656-5271(ホームアシスト不動産内)

活動の様子をフェイスブックで公開中!

こども教室
参加者募集中!
待ってま〜す



大宮神楽保存会の皆さん

★盛岡の神楽について

盛岡にはさまざまな種類の神楽が伝えられていますが、一番多いのは山の信仰に関わってきた山伏神楽です。「岩手三山」と呼ばれる岩手山と姫神山、早池峰山の麓では、修験山伏たちによる神楽が伝えられていました。修験道が廃止された後は、修験山伏の子孫や地域住民などによって継承されてきています。

山伏神楽の他には、神職が組織した社風神楽があります。山伏神楽の特色である「権現舞」を、社風神楽でも祈禱舞として舞うことから、山伏神楽との関わりが深いことが分かります。

◀神楽の動画はこちら(YouTube▶)



剣を持つと、マンガの主人公になった気分

Oomiya Kagura

こども教室は、地域住民の交流が減っている中で、家庭や学校以外の場所で他の世代の人と関わる機会にもなっています。教室に通う子どもたちは、学校でも人前で堂々と話すことができるようになりました。他の子どもたちにも、身近に日本の伝統があることを知ってもらい、先人たちの想いを絶やさないために、今一生懸命練習している子どもたちが活躍している様子を、多くの人に見てもらいたいですね。



大宮神楽保存会会長
鈴木 亜希子さん

兄がやっていた大宮神楽がかっこよく、自分も舞えるようになりたいと思いました。友達にも見てもらい、たくさんの舞があることを知ってもらいたいです。

武蔵 虎太郎君(本宮小6年)

父が踊っているのを幼稚園の頃から見ていたこともあって、小学1年生から始めました。それぞれの舞にストーリーがあるのが面白いです。

山下 結愛さん(本宮小6年)

子どもだけで舞や太鼓、鈴、笛など全てをやるのは、大宮神楽ならではの魅力。高校を卒業して地元を離れても、何らかの形で関わっていきたいです。

鈴木 万純さん(盛岡北高3年)

保存会紹介

2 小学校の授業を通じ、地域全体で伝承 ハツ口神楽保存会

ハツ口神楽は山伏によって伝えられた山伏神楽で、寛政年間(1789年〜1800年)が起源といわれている、上太田ハツ口に鎮座する熊野神社の奉納神楽です。ハツ口神楽の舞は山伏神楽にふさわしく、動きが激しく勇壮な舞が特徴です。

保存会での活動の他、太田東小で授業に取り入れられており、5月の運動会で披露するなど、地域全体で伝承活動に励んでいます。

【問】ハツ口神楽保存会庭元
熊谷 政秀さん
☎659-0708

活動の様子をツイッターで公開中!

Yatsukuchi Kagura

中村 羽希さん(太田東小6年)

お師匠さんに教えてもらって、しゃがんだり頭を上げたりする動きがうまくなっているようにうれしいです。

みんなで動きがそろった時が気持ちいい!もっと大きな動きで舞えるように頑張りたいです。

吉田 優真君(太田東小6年)



太田東小での授業の様子

保存会紹介

3 人と地域をつなぐ 思い出の神楽を守ります 巻堀神楽伝承会

巻堀神楽は、明治元年に巻堀神社の神主などが清水町にあった多賀大明神の社風神楽を習得し、伝承されました。30年ほど前には伝承会の人数が1人となり、存続がまもなくでしたが、小学生時代に指導を受けたメンバーにより活動を再開。現在は巻堀小での指導をしながら、巻堀神社の奉納などの伝承活動に取り組んでいます。

Makibori Kagura

進学のため地元を離れましたが、就職で盛岡に戻ってきて、10年前に伝承会に加入。小学生の頃、神楽の練習で友だちと集まるのが楽しく、今の子どもたちにもそういう経験をしてもらいたいと思い始めました。神楽は自分と地域とのつながりを感じられるソールの1つとして、これからも残ってほしいです。そして、自分のように地元に戻ってきて、神楽に携わる人が増えてほしいです。

巻堀神楽伝承会副会長
工藤 昭敏さん(44)



巻堀神社での奉納の様子

Festival

【フェスティバル】

各団体が、日ごろの練習の成果を披露する「郷土芸能フェスティバル」を開催します。さまざまな民俗芸能を一度に見ることができる機会です。ぜひ会場へお越しください。
※新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更・中止する場合があります

「青少年郷土芸能フェスティバル」

【日時】8月29日(日)13時〜16時
【場所】ホットライン肴町
【費用】無料
【出演団体】9団体



「もりおか郷土芸能フェスティバル」

【日時】①10月3日(日)10時〜16時
②来年2月23日(水)10時〜16時
【場所】①キャラホール(永井24)
②市民文化ホール(盛岡駅西通二)
【費用】前売り800円・当日1000円
※中学生以下無料
【出演団体】11団体



市長コラム
盛岡では、神楽をはじめとする数多くの郷土色豊かな民俗芸能が伝承されています。一方で、深刻な後継者不足に直面し、やむを得ず活動休止している団体もあります。盛岡の地で独自の発展を遂げ、この時代まで受け継がれてきた伝統芸能を市全体で守り育てていくために、まずは見て知ることから始めてみませんか。8月には青少年郷土芸能フェスティバルが開催される予定です。生の演舞の力強さを身近で感じてみてはいかがでしょうか。



盛岡市長
谷 藤 裕 明

☆もっと知りたい 神楽豆知識 コーナー

盛岡市文化財保護審議会委員 中嶋 奈津子さん



獅子頭の権現様
(見前神楽保存会)

■「権現様」ってなに?
「権現」は、**仏様が人々を救うために仮の姿をとって現われること**。岩手県の各地では獅子頭に神仏を宿し、「権現様」と呼んで大切にしています。神楽では、これを奉じて舞う「権現舞」を重要な祈禱舞としています。実は、獅子頭を「権現様」と呼んで信仰するのは東北地方特有で、旧南部領のみといわれます。

■神楽の見どころを教えてください!
舞とともに古くから受け継がれている衣装も、神楽を楽しむポイントの1つです。団体によって異なりますが、祈禱の舞では比較的シンプルなデザインの衣装が、神話や物語などストーリー性があり見て楽しむ舞では、華やかな衣装が多いようです。



「猿田彦舞」衣装(見前神楽保存会)

※撮影時のみマスクを外しています